

# USCAR 広報局の写真資料

## —収集・整理からインターネット公開まで—

小野 百合子<sup>†</sup>

はじめに

- 1 「在米沖縄関係資料収集公開事業」の概要
  - 2 USCAR 広報局の写真資料の概要と収集状況
    - 2-1 箱番号と主題分類
    - 2-2 2022 年度から 2024 年度までの収集作業と収集実績
  - 3 USCAR 広報局の写真資料の整理
    - 3-1 ファイル名の付与と写真の切抜き
    - 3-2 目録情報の作成
    - 3-3 仮想アルバム化とアーカイブへの登録
  - 4 「写真が語る沖縄」と USCAR 広報局の写真資料
    - 4-1 「写真が語る沖縄」
    - 4-2 USCAR 広報局の写真資料の利活用
- おわりに

はじめに

本稿の第一の目的は、沖縄県による「在米沖縄関係資料収集公開事業」において米国国立公文書館から収集してきた琉球列島米国民政府（United States Civil Administration of the Ryukyu Islands：USCAR）の写真資料を、沖縄県公文書館（以下、当館）の新規所蔵資料として受入れ、インターネット公開するまでの一連の作業を記録することである。同事業は、当館が未所蔵の沖縄関係資料を米国国立公文書館から収集してインターネット公開しようとするもので、2017 年度（平成 29）から開始された。対象となる沖縄関係資料は、写真、空中写真、動画（映像）で、このうち写真については、琉球列島米国民政府（USCAR）広報局の写真である<sup>1</sup>。筆者は同事業の担当となった 2022 年度（令和 4）から 2024 年度（令和 6）にかけての 3 年間、この USCAR 広報局の写真の収集（スキャニング）からインターネット公開までの一連の作業に携わった。本稿では、筆者が経験した写真の収集から整理・インターネット公開までの各工程を記録に残し、今後のスムーズな利用および利用促進につなげようとするものである。

また、「在米沖縄関係資料収集公開事業」においてインターネット公開された写真は、当館の所蔵資料検索から検索して閲覧できるほか、写真資料のネット公開に特化した当館のコンテンツ「写真が語る沖縄」を通じて広く利用されている。「写真が語る沖縄」には、「琉球政府関係写真資料」、「沖縄県関係写真資料」、「米国収集写真」の 3 つの写真資料が搭載されているが、このうち前二者については、麻生清香「写真資料の整理公開と利用制限審査—琉球政府関係写真資料と沖縄県関係写真資料を中心に—」<sup>2</sup>でその概要を知ることができる。よって、「在米沖縄関係資料収集公開事業」の対象である

---

<sup>†</sup> おの ゆりこ 公益財団法人沖縄県文化振興会 公文書管理課 公文書主任専門員

1 USCAR 広報局写真資料については、当館ウェブサイト>米国収取資料>USCAR 広報局写真資料 ([https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar\\_document/11847](https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar_document/11847)) を参照。

2 麻生清香「写真資料の整理公開と利用制限審査—琉球政府関係写真資料と沖縄県関係写真資料を中心に—」『沖縄県公

USCAR 広報局の写真をはじめとする「米国収集写真」の概要をまとめることにより、「写真が語る沖縄」に掲載している写真資料のおおまかな全体像、および「米国収集写真」の現時点での収集の到達点を提示することが、本稿の二つ目の目的である。

## 1 「在米沖縄関係資料収集公開事業」の概要

沖縄県による「在米沖縄関係資料収集公開事業」は、前述のとおり、米国国立公文書館から沖縄関係の写真、空中写真、動画を収集してインターネット公開するものである。事業初年度の 2017 年度（平成 29）に収集対象資料の選別が行われ、写真 42,000 点、空中写真 2,000 点、動画 700 点の収集資料リストが作成された。このうち写真については、2018 年度（平成 30）および 2019 年度（平成 31）の 2 年間で USCAR 広報局の写真 11,532 点が収集された<sup>3</sup>。新型コロナウイルスの流行を受けて 2 年間の中断を余儀なくされた収集業務は、2022 年度（令和 4）に再開されたが、筆者はこのタイミングで同事業の担当となった<sup>4</sup>。

筆者は 2016 年度（平成 28）以降、当館の「琉球政府文書」および「琉球政府関係文書」のインターネット公開を進める沖縄県のデジタルアーカイブ事業に携わってきた<sup>5</sup>。同事業が対象とする「琉球政府文書」および「琉球政府関係文書」は、デジタルアーカイブ事業が始まる前から、当館所蔵資料として閲覧室で原本が利用に供されていた。このため、資料（原本）を利用してもらうにあたって必要な整理作業、すなわち利用申請に使う資料コードの付与や、資料タイトルや作成者、作成年といった基礎的な目録情報の採取はすでになされていた。そのうえで、デジタルアーカイブ事業においてデジタル化した画像に利用制限情報の保護措置（マスキング処理）を施して、デジタルアーカイブサイト「琉球政府の時代」を通じて公開してきたわけである。これに対して、「在米沖縄関係資料収集公開事業」は、当館未所蔵の資料の収集および受入れ、目録情報の作成からはじまるところに大きな特徴がある。

## 2 USCAR 広報局の写真資料の概要と収集状況

### 2-1 箱番号と主題分類

USCAR 広報局の写真の収集は、米国国立公文書館新館（Archive II）5 階の Still Picture Research Room で行う。箱単位で整理されており、各写真には番号が付されている。この番号の最初の 3 桁は主題分類を示しており、各箱の主題は表 1 のとおりである。

---

文書館研究紀要』第 26 号（（公財）沖縄県文化振興会 2024）pp.1-9

- 3 なお、2018 年度（平成 30）および 2019 年度（平成 31）の 2 年間で収集された写真は、2020 年度（令和 2）に当館への受入処理が行われ、翌 2021 年度（令和 3）にインターネット公開されている。
- 4 収集業務が再開された 2022 年度（令和 4）以降は、収集、整理、インターネット公開までを年度内に完了させることになっている。
- 5 琉球政府文書および琉球政府関係文書のデジタルアーカイブ事業については、拙稿「琉球政府文書デジタルアーカイブの利用促進—資料紹介ページの活用と文書件名の整備を通して」『沖縄県公文書館研究紀要』第 21 号（（公財）沖縄県文化振興会 2019 年）pp.11-22、「資料紹介：吉田嗣延文書に含まれる南方同胞援護会関係文書 一軍用地問題および援護事業に関する資料に着目して」『沖縄県公文書館研究紀要』第 25 号（（公財）沖縄県文化振興会 2023）pp.1-12などを参照。

表 1 USCAR 広報局写真資料の主題一覧

主題	Box	主題	Box
010: General Education	1	480: Power	50-51
020: School Activities	1-2	490: Tourism	51
030: School Building	2	510: Newspapers	52
040: University	2-3	520: Customs and Traditions	52-53
041: University Building	3	530: Religion	53
050: Exchange Program	3-5	540: Commemorative Events	
060: Scholarships	5	550: Welfare	54-55
070: Organizations	6-8	560: Awards	55-56
110: Administration	8	570: Typhoons and Tidal Waves	57
120: Legislature	8-9	590: CARE	
130: Judiciary	9	610: Public Health	57-58A
140: Police & Fire Departments	9-10	620: Hospitals	59
150: Elections	11	640: Museums	60
160: Labor			
165: Land	12	660: Institutions	60-61
170: Immigration			
210: USCAR(Administrative)	13-16	670: Science	61-62
215: High Commissioner	17-28	720: Sports	62
220: Civil Administrator	29-32	730: Baseball	
225: Women's Club Activities	33-36	740: Basketball	
230: Cultural Centers	37-38	750: Boxing	
235: Events held at Cultural Centers	38	760: Sumo	
240: Radio (KSAR) "Group Listening System" Information		770: Judo, Kendo	
245: PAD=Personal Administration Division		780: Karate	
250: Vocational Training	39	790: Non-USCAR (Propaganda pictures of the 1956 Hungarian Uprising)	
260: Communism		810: Dance	
270: Ryukyuan-American Friendship	39-40	820: Music	
280: State Department	40	830: Painting	64
290: Armed Forces	40-41	840: Sculpture--No pictures	
310: Construction	41-42	850: Drama--No pictures	
320: Buildings	42	860: Pottery	64-65
330: Dedications	43-44	890: Exhibits	
350: Boat Building	44	910: Miscellaneous	65-67
360: Public Works	44-45	920: Copy Work	68-70
370: Street Scenes	45	930: Matthew G Perry Centennial Festival	70
380: Communications	45-46	940: Biological Science ( Apparently used only briefly between May 1952 through January 1953)	
390: Transportation	46	950: Pre-war Views	
400: Photo Exhibit "Modernization Comes to Okinawa"		960: Contests	
410: Agriculture		970: Fashion Shows	
420: Industry and Commercial	47-48	980: Scenery	70-71
430: Fishing	48-49	990: VIP's	71-76
440: Manufacturing	49-50	1000: Individuals	76-78

主題	Box	主題	Box
450: Forestry	50	USASC United States Army Secretary Photographs	78
460: Textiles			

当館ウェブサイト>資料紹介>米国収集資料>USCAR 広報局写真資料 ([https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar\\_document/11847](https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar_document/11847)) の主題分類一覧から作成

例えば、箱番号 63 の「810: Dance」の写真には「810」からはじまる番号 (図 1) が、「820: Music」の写真には、「820」からはじまる番号 (図 2) が記載されている。

USCAR 広報局の写真資料は、封筒の形状をしている。表面にプリント写真が貼り付けられ、写真の番号や日付、キャプション情報が記載されている。封筒の中には、もとは表面に貼付されたプリント写真のネガが収納されていたとのことだが、専用の保管環境 (保存庫) が必要なネガは現在、抜き取られている。よって、封筒の中には何も入っていないか (図 3)、写真を説明するキャプション用紙が入っていることがある (図 4)。



図 1 封筒左上に記載された番号 (260CR63-0037\_01)



図 2 封筒左上に記載された番号 (260CR63-0159\_01)



図 3 空の封筒

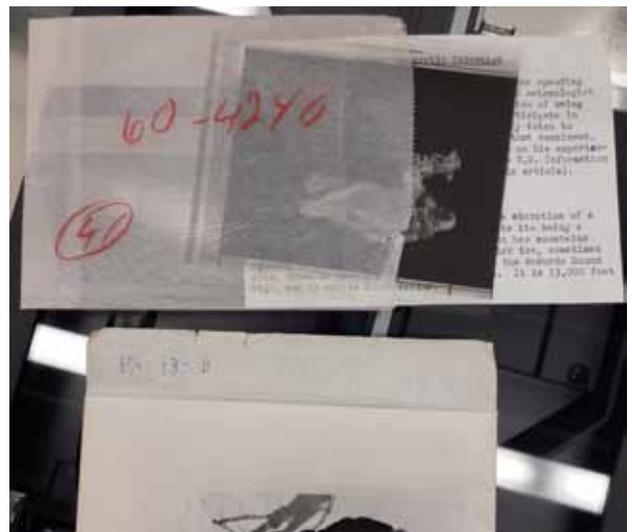


図 4 キャプション用紙などが入っている封筒

2-2 2022 年度から 2024 年度までの収集作業と収集実績

2022 年度（令和 4）以降の USCAR 広報局の写真の収集作業では、収集対象となる箱に入っているすべての封筒の写真貼付面をスキャンしている。また、封筒の中にキャプション用紙が入っている場合は、キャプション用紙もスキャンする。封筒に貼付された写真のサイズは、L 版（図 5）、正方形サイズ（図 6）、35mm ネガサイズ（図 7）の 3 種類があり、この写真貼付面をスキャンした画像から写真部分を切抜いて公開するのであるが、35mm ネガサイズの場合には封筒表面のスキャン画像から写真を切抜いても十分な画質が得られない。そこで、35mm ネガサイズの場合のみ、封筒の写真貼付面をスキャンしたうえで、別途、ネガの出納を依頼し、ネガ専用スキャナーを用いてネガをスキャンした画像から写真部分を切抜いて公開する。



図 5 L 版 (260CR60-0130\_01)



図 6 正方形 (260CR60-0183\_01)  
(260CR60-0183\_02)



図 7 35mm (260CR60-0134\_01)  
(260CR60-0134\_02)  
(260CR60-0134\_03)



図 8 スキャン作業



なお、収集作業の前に、米国国立公文書館新館 (Archive II) の Still Picture Research Room のスタッフにあらかじめ収集対象の箱番号とネガの番号を伝えておく。「在米沖縄関係資料収集公開事業」の初年度に行われた収集資料の選定の際にデジタルカメラで撮影された画像を事前に確認して、35mm ネガサイズの写真の番号を抽出しておく。その番号を事前に連絡して収集作業日にネガを出納してもらえるよう手配しておく（急激な温度変化を避けるため、ネガの出納は前日までに連絡する必要がある）。

表2 2018-2024年度の収集実績

収集年度	収集した箱	収集点数
2018-2019	1-56	11,532
2022	57-58	1,678
2023	58A-59, 75	3,239
2024	60, 63, 68-69	3,208
	収集合計点数	19,657

「在米沖縄関係資料収集公開事業」では、2022年度（令和4）は1,500点以上、2023（令和5）および2024年度（令和6）は3,000点以上の写真を収集する計画になっており、収集実績は箱番号57, 58, 58A, 59, 60, 63, 68, 69, 75の計9箱、計8,125点である。2018年度（平成30）および2019年度（平成31）に収集した11,532点を合わせると19,657点、計画値42,000点の47%である。

2023年度（令和5）以降に収集した箱番号が連続していないのは、ネガの出納に1人1日10点という上限が設けられているためである。前述のとおり、封筒貼付のプリント写真が35mm ネガサイズの場合、ネガをスキャンした画像が必要となる。35mm ネガサイズの写真が貼付された封筒数を箱毎に数えたうえで、作業日数と作業員数をかけ合わせたネガの出納上限内に収まるように収集対象の箱を選定する。例えば、4人で7日間という日程だった2024年度（令和6）の収集作業では、4人×7日×10点（10封筒）で280点がネガ出納の上限となり、35mm ネガサイズの写真数がこの範囲に収まる組み合わせを考えた結果、箱番号60, 63, 68および69の写真を収集対象とした。

なお、2018年度（平成30）および2019年度（平成31）に収集した箱番号1から56まででは、封筒貼付写真が35mm ネガサイズの場合、封筒貼付写真にクレヨンなどで書込みがある場合（図6・図15）は収集対象外としており、箱内のすべての写真が収集されているわけではない。2022年度（令和4）以降に収集した箱番号57以降は、前述のとおり、箱内のすべての写真の収集を完了している。

### 3 USCAR 広報局の写真資料の整理

#### 3-1 ファイル名の付与と写真の切抜き

収集作業が終わると、次はスキャンしてきた画像の整理にとりかかる。最初に行うのは、スキャン時に自動付与されるスキャン画像のファイル名を所定のファイル名に変更（リネーム）することである。USCAR 広報局の写真資料は箱単位で整理されているため、箱毎の封筒（の写真貼付面）のスキャン画像に対して数字4桁の連番を付与していく。この封筒の連番の冒頭に、米国国立公文書館におけるUSCAR 写真資料を示すレコード・グループ260CRと数字2桁の箱番号を付加した「260CR ●●（箱番号）-○○○○（封筒番号）」が基本のファイル名となる。封筒の中に入っていたキャプション用紙や、貼付写真が35mm ネガサイズだった場合のネガのスキャン画像といった各封筒に紐づく画像のファイル名は、基本のファイル名にキャプション用紙は「cap」、ネガは「nega」を付加したものとなる（図9の写真切抜き前）。

すべてのスキャン画像に所定のファイル名を付与したら、次に封筒貼付写真のスキャン画像から、同写真が35mm ネガサイズだった場合はネガのスキャン画像から、写真部分を切抜いていく。切抜いた写真には、基本のファイル名に「pic」というファイル名を付与する。このとき、ネガのスキャン画像から切抜いた写真のファイル名には、封筒表面のスキャン画像から切抜いた



図9 ファイル名の事例。写真の切抜き前（上）と写真の切抜き後（下）

写真と区別するために末尾に「n」を付加した（図9の写真の切抜き後）。

すべてのスキャニング画像に所定のファイル名を付与し、さらに写真部分を切抜いてこれにも所定のファイル名を付与したら、保存用データの完成となる。この保存用データは TIF ファイルであるが、これを JPEG ファイルに変換し、個人情報の保護（マスキング）や、画質調整などの処理を行ったもののうち、封筒あるいはネガから切抜いた写真（pic）のみがインターネット公開用のデータとなる。封筒や封筒の中に入っていたキャプション用紙、ネガなどのスキャニング画像はインターネット公開の対象ではないが当館閲覧室にて利用できる。

### 3-2 目録情報の作成

写真の切抜き作業が終わったら、次は目録作成を進めていく。切抜いた写真（pic）1点1点について、封筒表面に記載されているキャプション情報を「写真情報」として採取していく。封筒の中にキャプション用紙が入っている場合は、封筒記載のキャプション情報と封筒中のキャプション用紙の情報を足したものが「写真情報」となる（さらに、封筒裏面に記載の有意な情報が追加される場合もある）。「写真情報」は「原文」と「和訳」に分けて記載することとしており、資料原本に記載されているこれらの情報は「原文」となる。なお、封筒に記載されたキャプション情報がもともと日本語だった場合には、《 》で括って「原文」とする。これに対して、原文の和訳や、検索に資するキーワードの追加といった当館で新たに作成した情報は「和訳」に記載する。一つの封筒に複数の写真が貼付されている場合は、封筒に記載されたキャプション情報をすべての写真の「写真情報」とする。例えば、図7の3点の写真の「写真情報」は表3のようになる。

USCAR 広報局の大部分の写真（が貼付された封筒）には、撮影日の書込みまたはスタンプがあるため（図1~2、図5~7）、これを目録情報の「撮影日」とし、キャプション情報から撮影場所が特定できる場合には、主として市町村名を採取して目録情報の「撮影地」とする。また、前述のとおり、各写真（封

表3 各写真の解説

ファイル名	写真番号	収集元番号	写真解説
260CR60-0134_pic01n	260CR60-0134_01	640-82	【原文】 Cultural Assets <古文化財 スミソニヤン博物館より帰へる 盲里博物館にて>★【和訳】 博物館
260CR60-0134_pic02n	260CR60-0134_02	640-82	【原文】 Cultural Assets <古文化財 スミソニヤン博物館より帰へる 盲里博物館にて>★【和訳】 博物館
260CR60-0134_pic03n	260CR60-0134_03	640-82	【原文】 Cultural Assets <古文化財 スミソニヤン博物館より帰へる 盲里博物館にて>★【和訳】 博物館

筒)に記載されている番号の最初の3桁は主題分類を示しているが、これを目録情報の「分類」として採取し、後述する当館ウェブサイトの「写真が語る沖縄」からUSCAR広報局の写真を閲覧する際に主題分類で絞り込めるようにしている。

インターネット公開後、各写真を特定するための「写真番号」は、前述した各箱内の封筒に付与した連番と、一つの封筒から切抜いた写真の通番の組み合わせとなる。例えば、図7の場合、USCAR広報局の写真の箱番号60のなかの134番目の封筒に「260CR60-0134」という番号が付与され、この封筒(のネガ)から切抜いた1番目の写真(左)が「260CR60-0134\_01」、2番目の写真(中)が「260CR60-0134\_02」、3番目の写真(右)が「260CR60-0134\_03」となる。

### 3-3 仮想アルバム化とアーカスへの登録

次に、仮想アルバムを作成して当館の目録データベースシステムである「アーカス」に登録する。箱単位で封筒に通し番号を付したものを50封筒毎に一件とし、この単位で資料コードや資料タイトルなどを付与していく。50封筒分の写真で一つのアルバムを作るイメージで、この作業を便宜上、仮想アルバム化と呼んでいる。2019年度(平成31)までに収集したUSCAR広報局の写真(箱番号1から56)については、インターネット公開とあわせて紙のアルバム(ファイル)を作成して当館閲覧室の参考図書コーナーに配架していた。これらのアルバムは「USCAR広報局写真資料」というタイトルで通番94まで作成されていたが、2022年度(令和4)から2024年度(令和6)に収集した箱番号57以降では、紙アルバムの作成は廃止し、50封筒分の写真を仮想のアルバムとみなしている。なお、通番95以降の仮想アルバムでは、「USCAR広報局写真資料」という従来からの資料タイトルに、米国国立公文書館における箱番号と、当館で連番を付与した封筒番号との組み合わせを付加した(図10)。

次に、仮想アルバム化したものを1件として資料コードを発行したうえで、資料タイトルや資料群・シリーズなどの目録情報をアーカスに登録していく。「在米沖縄関係資料収集公開事業」において米国国立公文書館から収集してきたデータは、当館の目録における資料群は、「米国収集資料>米国国立公文書館>Archives II(カレッジ・パーク)>RG260:USCAR文書(第二次世界大戦米占領司令部文書)>広報局>映像・写真資料、他」となり、シリーズは「写真資料」である。なお、この資料の単位で利用制限情報の有無を示す「公開識別」を登録するため、マスキングを施した写真を含む資料(仮想アルバム)については「公開識別」が「一部公開」となる。こうして仮想アルバムを1件の資料としてアーカスに登録したら、次に、各資料に写真の目録情報を紐づけていく。写真1点1点の目録(表3)を当該写真が属する資料(仮想アルバム)の「写真情報」としてアーカスに登録するのである。

以上のようにして仮想アルバム単位でアーカスに登録したUSCAR広報局の写



図10 USCAR 広報局写真資料の資料タイトル

真資料は、当館所蔵資料検索における目録詳細ページでは図 11 のように表示される。各資料の目録詳細ページは、「分類情報」、「簿冊情報」、「写真情報」という 3 層構造になっており、(仮想) アルバム単位で 1 件とした資料単位の情報は「簿冊情報」として示される。その上にある「分類情報」は、各資料が属する資料群やシリーズを示しており、USCAR 広報局の写真資料の場合、前述した資料群「米国収集資料>米国国立公文書館>Archives II (カレッジ・パーク)>RG260: USCAR 文書 (第二次世界大戦米占領司令部文書)>広報局>映像・写真資料、他」とシリーズ「写真資料」となる。そして、「簿冊情報」の下にある「写真情報」として、1 点 1 点の写真の目録が示される。

■ をクリックで画像表示

**(分類情報)**

資料群ガイド 米国収集資料 > 米国国立公文書館 (Archives II) > RG260: USCAR文書 (第二次世界大戦米占領司令部文書) > 広報局 > 映像・写真資料、他

シリーズ 写真資料

シリーズ解説 琉球列島米国民政府(USCAR)広報局の写真は、USCAR広報誌をはじめ、プレスリリースや壁新聞等に広く活用されました。

**(簿冊情報)**

タイトル USCAR広報局写真資料 118 Box58A-02 (CR58A-0051~0100)

資料日付 (自)、(至)

作成者 琉球列島米国民政府広報局

所管(発行) 米国国立公文書館

資料解説

分類タグ

各種識別 [資料種別] 写真、[個人情報] 有、[内容コード] A000035673

**(写真情報)** ※リンクの張られた写真をクリックすると写真を表示します。

No	写真番号	分類名	撮影日	撮影地	写真解説
1	<a href="#">280CR58A-0051_01</a>	公衆衛生	1964/12/11		【原文】Graduation Ceremony of Special Environmental Class 【和訳】環境衛生特別講座修了式
2	<a href="#">280CR58A-0052_01</a>	公衆衛生	1965/2/10		【原文】Dr.Hsu Visits GRI Hygienic Lab. 【和訳】スー博士が琉球政府立衛生研究所を訪問
3	<a href="#">280CR58A-0053_01</a>	公衆衛生	1965/2/10		【原文】Dr.Hsu 【和訳】スー博士
4	<a href="#">280CR58A-0054_01</a>	公衆衛生	1965/2/10		【原文】Dr.Hsu 【和訳】スー博士
5	<a href="#">280CR58A-0055_01</a>	公衆衛生	1965/2/10		【原文】Dr.Hsu 【和訳】スー博士
6	<a href="#">280CR58A-0056_01</a>	公衆衛生	1965/2/11	那覇	【原文】Dr. T.C. Hsu Inspects Naha Nursing School «Dr. T. C. Hsu WHOが那覇看護学校を視察» 【和訳】世界保健機関 (WHO) T・C・スー博士

図 11 USCAR 広報局写真資料の目録詳細ページ

この所蔵資料検索の目録詳細ページには、写真を見るための入り口が二つある。一つは、「簿冊情報」の欄にあるアイコン (カメラマーク) であり、このリンクからは各資料 (アルバム) に収められたすべての写真を表示できる。二つ目は、「写真情報」の欄にある写真番号のリンクであり、これらのリンクからは各写真に直接アクセスできる。すでに写真番号が特定されている場合には、「写真情報」の当該写真番号のリンクを利用すると便利である。なお、2022 年度 (令和 4) 以降に収集・公開した USCAR 広報局の写真資料を、米国国立公文書館における箱の単位とせず、さらに細かい 50 封筒分の写真で 1 件の資料 (仮想アルバム) としたのは、この目録詳細ページの「写真情報」を無理なくスクロールできる分量とするためでもある。

「簿冊情報」のアイコン (カメラマーク) もしくは「写真情報」の写真番号のリンクを押すと、「写真が語る沖縄」というコンテンツに遷移して各写真が表示される。「琉球政府文書」および「琉球政府関係文書」のデジタルアーカイブを所蔵資料検索から利用する場合、目録詳細ページあるいは検索結

果一覧に表示されるアイコンから専用ビューを開いて各資料を見ることになるが、写真資料の場合には、この文書を見るためのビューではなく、写真資料に特化した「写真が語る沖縄」というコンテンツから利用する<sup>6</sup>。次節では、この「写真が語る沖縄」のなかでUSCAR広報局の写真がどのような位置を占めるのかを述べるが、そのまえに米国国立公文書館から収集してきた写真を新規資料として受入れ、公開する際の手順を簡単に述べておきたい。

「在米沖縄関係資料収集公開事業」における収集資料は、当館の新規所蔵資料となるため、アーカスに新規登録する全仮想アルバムに対して、一つの受入コードを付与する。受入コードは新規受入れ資料の受入日、受入量、受入先などを管理するものである。例えば、2023年度（令和5）に収集したUSCAR写真資料の場合、受入識別は「複製」、受入先名は「米国国立公文書館」、受入情報は「2023年度在米沖縄関係資料収集業務（一括交付金事業）」において、米国国立公文書館から収集した写真及びその解説文」となっている。一方、これら新規受入れ資料の整理作業が終わり、新規公開資料として利用に供する際に付与するのが公開コードである。公開コードは、公開年や公開資料の概要などを管理するもので、受入コードと同様、新規公開資料のまとまりに対して割り当てられる。通常、公文書館における資料の新規公開とは、閲覧室で資料原本の利用が可能になる状態を指すが、「在米沖縄関係資料収集公開事業」における収集資料については、インターネットで利用できる状態をもって「公開」とし、インターネット公開と同時に当館閲覧室でも利用できるようにしている。

## 4 「写真が語る沖縄」とUSCAR広報局の写真資料

### 4-1 「写真が語る沖縄」

現在、「写真が語る沖縄」には、「琉球政府関係写真資料」、「沖縄県関係写真資料」、「米国収集写真」の3つの写真資料が搭載されている（図12）。「在米沖縄関係資料収集公開事業」において収集したUSCAR広報局の写真は、「米国収集写真」のなかの「USCAR広報局」のカテゴリーに追加されていく（図13）。はじめに述べたように、「琉球政府関係写真資料」および「沖縄県関係写真資料」については、麻生清香「写真資料の整理公開と利用制限審査—琉球政府関係写真資料と沖縄県関係写真資料を中心に—」で概要を知ることができる。ともに沖縄県総務部知事公室広報課（当時）が作成・保管してきたもので、1998年（平成10）6月に当館へ引き渡された<sup>7</sup>。どちらの写真資料も「移住」、「医療・衛生」、「運輸・通信」といったカテゴリーごとに絞りこめるようになっている。

「米国収集写真」は、収集元である米国国立公文書館のレコード・グループに対応したカテゴリーとして、「USCAR広報局」、「米国陸軍通信隊」、「米国空軍」、「米国海兵隊」、「米国海軍」、「米国沿岸警備隊」があり（図13）、このうち「USCAR広報局」については、前述の主題分類（表1）を選択することで該当主題の写真を絞り込める。

2025年（令和7）2月末時点で、「写真が語る沖縄」には、「琉球政府関係写真資料」43,369点、「沖縄県関係写真資料」7,563点、「米国収集写真」40,384点が搭載されている。「琉球政府関係写真資料」については、沖縄県から引渡しを受けた写真のうち、利用審査の結果、非公開となったものなどを除いて、基本的には公開済となっている。「沖縄県関係写真資料」は、毎年1,000点程度の整理および公開を進めており、今後も順次、「写真が語る沖縄」に追加される計画である。そして、「米国収集写真」は、2024年度（令和6）の「在米沖縄関係資料収集公開事業」で「USCAR広報局」3,208点を新規公開すると（表2）、「米国収集写真」の総数が43,592点となって「琉球政府関係写真資料」を上回ること

6 同様のコンテンツとして、空中写真のウェブ閲覧に特化した「空から見た沖縄」、動画のウェブ閲覧に特化した「映像に見る沖縄」がある。

7 前掲「写真資料の整理公開と利用制限審査—琉球政府関係写真資料と沖縄県関係写真資料を中心に—」。

写真が語る沖縄



図 12 「写真が語る沖縄」の3つの写真資料

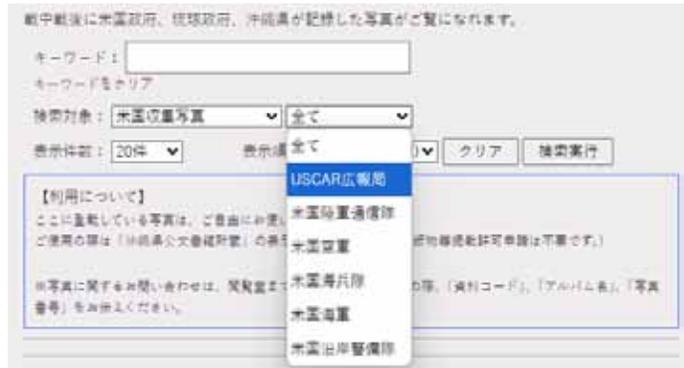


図 13 「米国収集写真」のカテゴリー

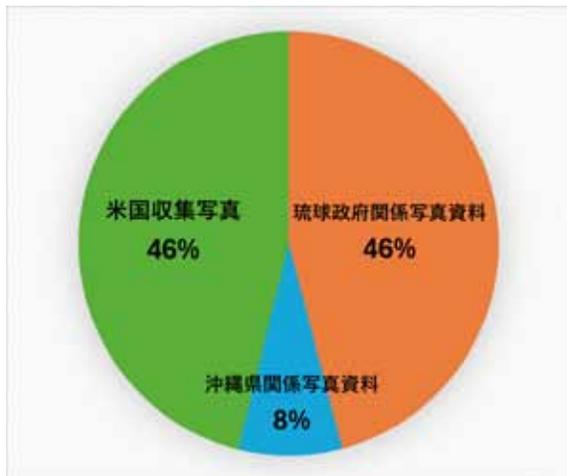


図 14 各写真資料の割合

になる (図 14)。

「写真が語る沖縄」の「米国収集写真」には、当館がこれまで米国国立公文書館から収集してきた沖縄関係写真が集約されているが、仲本和彦によると、2007年(平成19)の段階で、海軍と空軍、海兵隊については収集がほぼ完了しており、陸軍のレコード・グループ 111-SC および USCAR の 260-CR の収集が残されていた。このうち USCAR の 260-CR は、「在米沖縄関係資料収集公開事業」によって、今後、未収集分の箱(主題)の写真を収集する計画となっている。陸軍の 111-SC は、インデックスカードの調査により約 7,000 枚の沖縄関係写真の抽出は完了しているものの、収集は完了していない<sup>8</sup>。この陸軍の 111-SC の収集が実現すれば、米国国立公文書館において所蔵

が確認されている沖縄関係写真の収集がひととおり完了する見通しとなる。

4-2 USCAR 広報局の写真資料の利活用

最後に USCAR 広報局の写真資料の利活用について簡単に述べたい。写真資料は、当時の社会状況を雄弁に語るものであり、USCAR 広報局写真についても多くの方に利用されている。しかし、統治者である USCAR が沖縄住民に何を伝えるために撮影したものなのかという点は、常に念頭に置く必要があるだろう。USCAR 広報局の写真資料には「USCAR の功績が記録される一方で、当時数多く発生した事件・事故など米軍基地から派生する弊害等は一切記録されてい」ない<sup>9</sup>のであり、「その意味で、USCAR による情報政策の一端を映し出す資料群」である<sup>9</sup>。このような性格に留意しつつ、琉球政府が撮影した「琉球政府関係写真資料」とあわせて利用することも有効だろう。仲本が指摘するように、USCAR 広報局の写真資料は、『琉球政府関係写真資料』として沖縄県公文書館が所蔵する約 5 万枚の写真とは『車の両輪』の関係にあり、アメリカ統治時代に沖縄に併存した 2 つの行政府の営みをたどるには不可欠な資料である<sup>10</sup>からである。

8 仲本和彦「在米沖縄関係資料調査収集活動報告Ⅱ：米国国立公文書館新館所蔵の映像・音声資料編」『沖縄県公文書館研究紀要』第9号((公財)沖縄県文化振興会 2007) pp.17-26

9 当館ウェブサイト>米国収取資料>USCAR 広報局写真資料 ([https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar\\_document/11847](https://www.archives.pref.okinawa.jp/uscar_document/11847))

10 前掲「在米沖縄関係資料調査収集活動報告Ⅱ：米国国立公文書館新館所蔵の映像・音声資料編」p.20



この写真を利用する場合は、出版物等掲載許可申請不要です。

(※ご利用の際は「沖縄県公文書館所蔵」の表示をお願いします。)

分類名: 公衆衛生  
 写真解説: 【原文】 Spraying in the rice paddy at the Tomigusuku Malaria and environmental control  
 HAND-OPERATED DDT FOG SPRAYERS at work in a rice paddy in the Ryukyu Islands. Malaria has dropped from a high of 160,098 cases in 1946 to four cases in 1960 and five cases in February, 1961; there have been no malaria cases since that time. If the zero level of malaria cases can be maintained until February, 1963, public health officials can announce the eradication of malaria in the Ryukyus. However, surveillance of humans and a reduced spray program will still be necessary in the future to prevent malaria from ever returning to the Ryukyus.

【和訳】 豊見城の水田で噴霧 マラリア環境管理  
 琉球列島の水田で使用中のDDT手動散布機。マラリアは、1946年の160,098例をピークに、1960年に4例、1961年2月に5例と減少し、それ以降は発生していない。このままマラリア患者ゼロが1963年2月まで続けば公衆衛生当局は琉球におけるマラリアの根絶を宣言することが可能になる。それでもマラリアが琉球に再上陸しないようにするためには、継続して健康調査と縮小噴霧プログラムが必要と思われる。

撮影地: 豊見城  
 撮影日: 1953年2月10日  
 備考:  
 資料コード: 0000232291  
 写真番号: 260CR57-0293\_01  
 アルバム名: USCAR広報局写真資料 100 Box57\_06 (CR57-0251~0300)

図15 USCAR 広報局写真資料 (260CR57-0293\_01)



HAND-OPERATED DDT FOG SPRAYERS at work in a rice paddy in the Ryukyu Islands. Malaria has dropped from a high of 160,098 cases in 1946 to four cases in 1960 and five cases in February, 1961; there have been no malaria cases since that time. If the zero level of malaria cases can be maintained until February, 1963, public health officials can announce the eradication of malaria in the Ryukyus. However, surveillance of humans and a reduced spray program will still be necessary in the future to prevent malaria from ever returning to the Ryukyus.

図16 図15の写真が使用されているUSCAR文書



図17 「琉球政府の時代」資料紹介記事

また、写真資料の利用可能性は、その写真がいつどこで何を、あるいは誰を撮影したものなのかというキャプション情報の有無や量によって大きく変わってくる。USCAR 広報局の写真資料は、タイトルと撮影日はほぼすべての写真に付されており、また詳細なキャプションが付いたものも多いため、利活用がしやすい資料といえるだろう。また、2022年度(令和4)から進められている沖縄県による「琉球政府関係文書」のデジタルアーカイブ事業において、USCAR 文書のインターネット公開が進んでいるが、このなかにはUSCAR 広報局の写真と関連する文書も含まれている。

例えば、2022年度(令和4)の「在米沖縄関係資料収集公開事業」で収集・公開した箱番号57(610: Public Health 公衆衛生)の写真番号「260CR57-0293\_01」(図15)は、USCAR 文書の広報局情報部のシリーズ「Wall Newspaper Posters, No. 1 (5 Feb 1962) through No. 2 (12 Dec 1967)」に含まれる資料「(0387-007) "Nyusu Tembo (News Outlook)," No. 7 (6 May 1962). ニュース展望 No.7」(図16)で使われた写真である。デジタルアーカイブ「琉球政府の時代」の資料紹介ページ「USCAR 壁新聞その1~マラリア根絶へのカウントダウン」<sup>11</sup>(図17)で紹介したとおり、「ニュース展望 No.7」は、「殺虫剤 DDT を6カ月ごとに人家や家畜小屋に散布」といった「琉球に対するアメリカの援助資

11 琉球政府の時代>資料紹介>USCAR 壁新聞その1~マラリア根絶へのカウントダウン (<https://www3.archives.pref.okinawa.jp/GRI/documents/%e3%83%9e%e3%83%a9%e3%83%aa%e3%82%a2%e6%a0%b9%e7%b5%b6%e3%81%b8%e3%82%ab%e3%82%a6%e3%83%b3%e3%83%88%e3%83%80%e3%82%a6%e3%83%b3/>)

金でまかなわれている」マラリア撲滅対策により、1961年（昭和36）2月以降、沖縄ではマラリア感染者がゼロの状態が続いていることを沖縄住民に伝える内容である。

USCAR 広報局の文書のなかには、この壁新聞をはじめ USCAR 広報局が沖縄住民向けに作成した各種媒体に関する文書が多くあり、USCAR 広報局の写真資料のなかには、こうした媒体で使われた写真が多数含まれる。文書と写真をあわせて活用することで、USCAR 広報局が果たした役割をより詳細に検討できるだろう。この「(0387-007) "Nyusu Tembo (News Outlook)," No. 7 (6 May 1962). ニュース展望 No.7」は、マラリア撲滅に USCAR が果たした役割を沖縄住民に「宣伝」するものであるが、USCAR 広報局の写真にはこうした「USCAR の功績」を記録した写真が多数ある。そのなかでも目を引くのが、高等弁務官資金を活用した各市町村における公民館の建設である。

「写真が語る沖縄」の「USCAR 広報局」で、「高等弁務官資金」、「公民館」と検索すると、高等弁務官資金の援助を受けて各市町村に建設された公民館に関する写真が多数ヒットする。高等弁務官資金とは USCAR 高等弁務官の裁量で各市町村に直接交付されたもので、沖縄住民に対する USCAR の宣撫工作資金と位置づけられているものである。<sup>12</sup> 例えば、写真番号「24-03-1」は、1971年（昭和46）3月24日に国頭村楚洲で行われた、公民館建設のための高等弁務官資金の交付の様式の様子をとらえたものである（図18）が、この写真と対応する USCAR 文書が、渉外局のシリーズ「HICOM Fund Files, 1959-1972.」のなかにある「(0233-014) Sosu-ku, Kunigami-son, FY 1970: Village Hall (SAM 11-71). 国頭村楚洲区 公民館 (SAM 11-71)」である。

ここには、1971年（昭和46）3月24日に国頭村楚洲で行われた「Fund Award - Village Hall」の概要を記した「Check Sheet HiCom Fund Ceremonies」（図19）や、国頭村長がランパート高等弁務官宛てに公民館建設資金として高等弁務官資金を交付してほしい旨を1969年（昭和44）11月10日付で陳情した文書などが含まれている。また、1970年（昭和45）12月9日付の「Disbursement Voucher」では、国頭村楚洲の公民館の建設資金を8,000ドルと見積もり、このうち5,000ドルについて



この写真を利用する場合は、出版物等掲載許可申請不要です。  
 (※ご利用の際は「沖縄県公文書館所蔵」の表示をお願いします。)  
 分類名： 米国民政府 (行政)  
 写真解説： 【原文】 HICOM Fund Grant for Sosu Village.  
 【和訳】 国頭村楚洲公民館建設のための高等弁務官地域社会特別援助資金交付式  
 撮影地： 国頭村楚洲  
 撮影日： 1971年3月24日  
 備考：  
 資料コード： 0000112046  
 写真番号： 24-03-1  
 アルバム名： USCAR 広報局写真資料2-6

図18 USCAR 広報局写真資料 (24-03-1)

Check Sheet HiCom Fund Ceremonies

Type of Activity: Fund Award - Village Hall

Location: Sosu-ku, Kunigami-son

Scheduled Date: 24 March 1971 Time: 1130

Legislator Notified: Matsui MIYAZATO

Mayor Notified: Takeo YAMAGAWA

Transportation Arrangements: Helicopter

Point of Departure: USCAR Pad Time: 1330

Arrival Time at Destination: 1415

Departure Time From Destination: 1515

Point of Return: USCAR Time: 1600

USCAR Representation: ITO Richard K. McNeely, Director Legal Dept.  
Arthur H. Emme & Thomas N. Tanimoto, International Relations Officers, IN Dept.

Interpreter: \_\_\_\_\_

PAD Photographer: Yes

News Release: Yes

Participants from Municipality: Assembly Chairman Zenko SHINZATO and Ku-cho  
Isamu IHA

図19 図18の写真に対応するUSCAR文書

12 池宮城秀正『琉球列島における公共部門の経済活動』（同文館出版 2009年）p.179、沖縄県教育庁文化財課史料編集班編『沖縄県史各論編 第7巻 現代』（沖縄県教育委員会 2022年）第3部第1章第2節「二 高等弁務官資金」などを参照。

て高等弁務官資金を当てるとしているが、1971年（昭和46）10月23日に行われた同公民館の落成式の様子をとらえたUSCAR広報局の写真（写真番号260CR-44\_0054-01）には、「楚洲部落の公民館は26坪の一階建鉄筋コンクリートで、建設費用は8,000ドル、そのうち5,000ドルは高等弁務官資金の援助によるもの」というキャプションが付いている。

USCAR文書の渉外局のシリーズ「HICOM Fund Files, 1959-1972.」に含まれる、公民館の建設費として各市町村に交付された高等弁務官資金に関する文書は、USCAR広報局の公民館建設に関する写真資料と対応しているものが多い。USCAR広報局の写真に付されたキャプション情報と、関連するUSCAR文書の内容を照合することで、高等弁務官資金を使って各地に建設された公民館について、より多くの情報を得ることができる。このように、関連するUSCAR文書と組み合わせることで、USCAR広報局の写真資料の利用価値はより高まるといえるだろう。

### おわりに

本稿では、筆者が携わった2022年度（令和4）から2024年度（令和6）にかけての「在米沖縄関係資料収集公開事業」におけるUSCAR広報局の写真の収集（スキャニング）からインターネット公開に至るまでの各工程について述べてきた。新規収集資料が当館の所蔵資料として登録され、整理作業を経て利用に供されるまでの一連の作業の記録が、今後の新規資料収集およびインターネット公開作業の参考になれば幸いである。

また、当館のコンテンツ「写真が語る沖縄」に集約されている各写真資料の公開状況、および「米国収集写真」の収集状況について、現時点での到達点を述べた。米国国立公文書館の沖縄関係写真のうち、陸軍のレコード・グループ111-SCおよびUSCARの260-CRの収集が残された課題となっていたが、「在米沖縄関係資料収集公開事業」におけるUSCAR広報局（260-CR）の写真の収集は、欠けていたピースの一つを埋める意義をもつものである。

筆者はこれまで、当館の所蔵資料である「琉球政府文書」および「琉球政府関係文書」のデジタルアーカイブ事業に携わってきたが、「在米沖縄関係資料収集公開事業」を通じて、未所蔵資料の収集、整理からインターネット公開までを経験することとなった。また、前者の事業におけるUSCAR文書のインターネット公開、後者の事業におけるUSCAR広報局の写真資料の収集およびインターネット公開の両者を担当したことで、USCARが作成した文書資料と写真資料との関連も少しずつ見えてきた。USCAR広報局の写真資料とUSCAR文書の両資料を活用することで、USCARの活動やUSCARと琉球政府あるいは沖縄住民との関係性について、理解が深まることを期待したい。